

《登園・登所意見書(医師の意見)が必要な感染症》

病名	主な症状	かかりやすい年齢及び季節
麻疹 (はしか)	潜伏期間(8~12日) 症状: 元気なし→発熱・鼻汁・目やにが強くなる。 咳→発疹の順に進行する。 初めは風邪の症状に似ている。	生後7~8か月以降幼児期にかけて(幼児期に最もかかりやすい) 春から夏にかけて流行期であったが、最近は年間を通じて発生する。
水痘 (みずぼうそう)	潜伏期間(14~16日) 症状: 不機嫌→食欲不振・頭痛・発熱があるときもある→1日以内に発疹。 発疹は顔・頭・胸と進み全身に発疹が出そろうまでに5日くらいかかる。 口・耳の中にまで出ることがある。	生後3~6か月以降幼児期(2~6歳)に最もかかりやすい。冬から春に多い。 特に集団にいる場合。
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	潜伏期間(16~18日) 症状: 発熱・嘔吐・食欲不振があり物を食べると耳が痛む。1~2日して耳下腺がはれてくる。(耳のすぐ後ろの下)	3~10歳の間に主にかかりやすい。年少児がかかると症状が出にくいことが多い。 流行の多くは地域的にみられる。 髄膜炎を合併することがある。
風疹 (三日はしか)	潜伏期間(16~18日) 症状: 軽い熱と同時に発疹(顔から下のほうへ)リンパ腺が腫れる。1~2日で熱が下がり3~6日で発疹が消える。	生後6か月以降5~15歳の間に主にかかりやすい。
咽頭結膜熱 (プール熱)	潜伏期間(2~14日) 症状: 発熱・咽頭痛・結膜の充血。	幼児期から小学生期に多い。
百日咳	潜伏期間(7~10日) 症状: 日増しに強くなる咳、熱は出ない場合もある。	乳児期から幼児期に多い。
流行性角結膜炎	潜伏期間(2~14日) 症状: 結膜の充血・眼脂(目やに)・結膜にウイルスなどの増殖をみる。	全年齢層
急性出血性結膜炎	潜伏期間(1~3日) 症状: 異物感・充血・まぶたの腫れなど	全年齢層
腸管出血性大腸菌感染症 (O157・O26・O111など)	潜伏期間(10時間~6日) 症状: 症状のないものから下痢(水様便)、腹痛、血便が様々な程度で現れるのが特徴。	全年齢層(発症し重症化しやすいのは子どもと高齢者)

★ その他に、感染症法一類・二類感染症(ポリオ・結核・ウイルス性肝炎など)にかかった場合も登所(園)には医師の指示が必要です。

★ 『登園・登所意見書』の用紙は各認定こども園・保育所にあります。(市ホームページからダウンロードすることもできます。)